SONY

3-091-630-**03**(1)

サイバーショットステーション

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告　電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

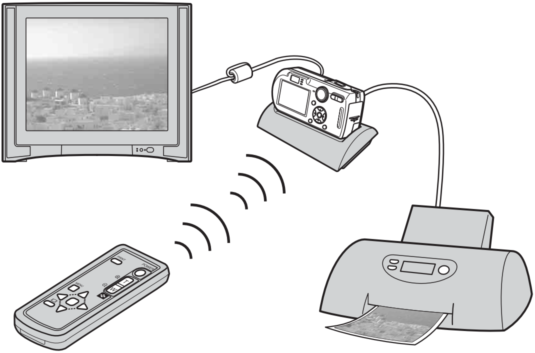
この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

CSS-PHA
CSS-FEB

CSS-PHAは、DSC-P150/P100でご使用いただけます。
CSS-FEBは、DSC-F88でご使用いただけます。

主な特長

- 本機にデジタルスチルカメラを接続することにより、リモコン操作で、画像をテレビで再生したり、PictBridge対応プリンターから直接印刷することができます。
- デジタルスチルカメラとACアダプター（AC-LS5/LS5B）を本機に接続することにより、デジタルスチルカメラ内部にあるバッテリーを本体内充電することができます。
- 本機にデジタルスチルカメラを接続することにより、パソコンとUSB接続することができます。



* ACアダプターは付属しておりません。デジタルスチルカメラに付属のACアダプター（AC-LS5/LS5B）、または別売りのAC-LS5をお使いください。
* 本取扱説明書では、サイバーショットステーションのイラストとして、主にCSS-PHAのイラストを記載しております。CSS-FEBをお使いの場合も、同じようにご使用いただけます。

* 本取扱説明書では、デジタルスチルカメラの液晶画面のイラストとして、主にDSC-P100の画面のイラストを記載しております。詳しくはお手持ちのデジタルスチルカメラの取扱説明書をご覧ください。

- リモコン操作によって、簡単に画像をテレビで再生できます（23ページ）。
- リモコンのボタンはデジタルスチルカメラのボタンと同じ機能を持っています（21ページ）。

  例えば、こんな使いかたができます（DSC-P100の場合）。
  - リモコン操作で画像を見る
  - リモコン操作でスライドショー
  - リモコン操作でトリミング
  - リモコン操作で再生ズーム

  詳しくはデジタルスチルカメラの取扱説明書をご覧ください。
- PictBridge対応プリンターと接続し、リモコンのPRINTボタンを押すだけで簡単に印刷することができます（29ページ）。

  例えば、テレビに表示されている画像を、リモコン操作で印刷できます。

  注意： スライドショー再生中の画像を印刷するときは、スライドショーの再生を中止してから行ってください。

* リモコン操作を行うときは、ACアダプターと接続することが必要です。

商標について

- Cyber-shotおよび“ サイバーショット ”はソニー株式会社の商標です。
- “ Memory Stick ”（“ メモリースティック ”）およびはソニー株式会社の商標です。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中には™、®マークは明記していません。

目次

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

⚠警告　安全のために

ソニー製品は、安全に充分配慮して設計されています。しかし、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

- **安全のための注意事項を守る**
- **故障したら使わずに、テクニカルインフォメーションセンターまでご連絡ください。**
- **万一、異常が起きたら**

変な音やにおい、煙が出た場合は

➡

❶ **ACアダプターをコンセントから抜く**

❷ **デジタルスチルカメラを本機からはずす**

❸ **デジタルスチルカメラのバッテリーをはずす**

❹ **テクニカルインフォメーションセンターまでご連絡ください**

警告表示の意味

この取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険　この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告　この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意　この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

行為を禁止する記号


禁止


分解禁止


接触禁止

行為を指示する記号


プラグをコンセントから抜く


指示

⚠警告

火災　感電

下記の注意事項を守らないと、火災・感電により死亡や大けがの原因となります。

分解や改造をしない

分解禁止

火災や感電の原因となります。危険ですので、絶対に自分で分解しないでください。
内部の点検や修理はテクニカルインフォメーションセンターにご依頼ください。

内部に水や異物を入れない

禁止

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。この製品は防水構造にはなっていませんので、水中や雨天での使用はできません。万一、水や異物が入ったときは、すぐにデジタルスチルカメラ本体のスイッチを切り、本機からはずしてください。ACアダプターもコンセントから抜いて、テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

雷が鳴りだしたら、使用しない

接触禁止

遠くで雷が鳴りだしたときは、落雷を避けるため、すぐにご使用を中止してください。

⚠注意　下記の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所では使わない
上記のような場所で使うと、火災や感電の原因となることがあります。

禁止

指定以外のACアダプターを使わない
火災やけがの原因となることがあります。

禁止

ぬれた手で本機をさわらない
感電の原因となることがあります。

禁止

長期間使用しないときは、電源をはずす
長期間使用しないときは電源コードをはずして保管してください。火災の原因となることがあります。

プラグをコンセントから抜く

乳幼児の手の届かないところで使用／保管する
ケガ、感電、故障の原因になります。

指示

安定した場所に置く
ぐらついた台の上や傾いたところなどに置いたり、不安定な状態で設置すると、製品が落ちてけがの原因となることがあります。

指示

コード類は正しく配置する
電源コードやUSBケーブル、A/V接続ケーブルなどは足に引っかけると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあるため、充分注意して接続・配置してください。

指示

本機を布団などでおおった状態で使わない
熱がこもって変形したり、火災の原因となることがあります。

禁止

⚠危険 電池についての安全上のご注意とお願い

漏液、発熱、発火、破裂、誤飲による大けがややけど、火災などを避けるため、下記の注意事項をお守りください。

⚠危険

- 火の中に入れない。電子レンジやオーブンで加熱しない。
- ショートさせたり改造、分解しない。
- コインやヘアピンなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 火のそばや炎天下、高温になった車の中などで放置したりしない。

⚠警告

- ハンマーなどでたたいたり、踏みつけたり落下させるなどの強い衝撃を与えない。
- 水・海水・牛乳・清涼飲料水・石鹸水などの液体で濡らさない。
- 幼児の手の届かない場所に置き、口に入れないよう注意する。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。
- 指定された種類の電池を使用する。
- 乾電池やボタン型電池は充電しない。
- 電池を使い切ったとき、長期間使用しないときは、取り出しておく。

使用上のご注意

置いてはいけない場所

使用中、保管中にかかわらず、次のような場所に置かないでください。故障の原因になります。

- 異常に高温になる場所
  炎天下や夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- 直射日光の当たる場所、熱器具の近く
  変形したり故障したりすることがあります。
- 激しい振動のある場所
- 強力な磁気のある場所
- 砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所
  海辺や砂地、あるいは砂ぼこりが起こる場所などでは、砂がかからないようにしてください。故障の原因になることがあります。

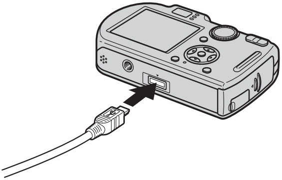
使用について

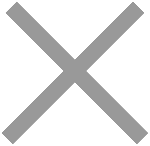
- 強力な電波を出すところや放射線のある場所で使わない
  正しく再生できないことがあります。

取り扱い上のご注意

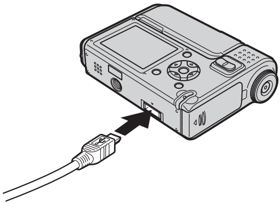
- 付属のUSBケーブルをデジタルスチルカメラ底面のマルチ接続端子に挿入しないでください。マルチ接続端子が破損することがあります。

DSC-P150/P100**の場合**

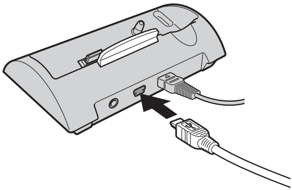


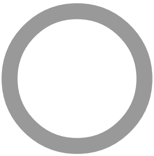


DSC-F88**の場合**

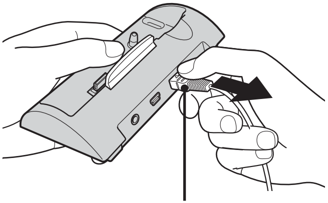


- USBケーブルは本機の後面にある(USB) 端子に正しく挿入してお使いください。





- ACアダプターを本機から抜くときは、図のようにDCプラグと本機を持って取りはずしてください。



- ケーブルをもってコネクタの抜き差しをしないでください。
- ケーブルを折り曲げたり、無理な力を加えないでください。

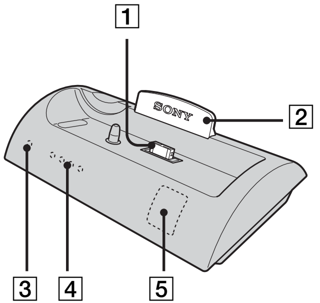
充電について

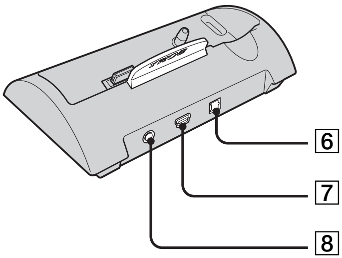
電池の性能を充分に発揮させるには、10〜30℃での充電をおすすめします。

お手入れのしかた

水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽く拭いたあと、から拭きします。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので使わないでください。

各部のなまえ





ワイヤレスリモコンの「各部のなまえ」は、「ワイヤレスリモコンを使う」（21ページ）をご覧ください。

1 **マルチ接続端子**

2 **ブルーイルミネーション**

ACアダプターを接続すると青く光ります。
デジタルスチルカメラを本機に取り付けると消えます。

3 POWER（パワー）**ランプ**

ACアダプターを接続すると緑色に光ります。

4 CHARGE（チャージ）**ランプ**

デジタルスチルカメラのバッテリーを充電中に、順次点灯します。

5 **リモコン受光部**

6 DC IN**端子**

7 (USB)**端子**

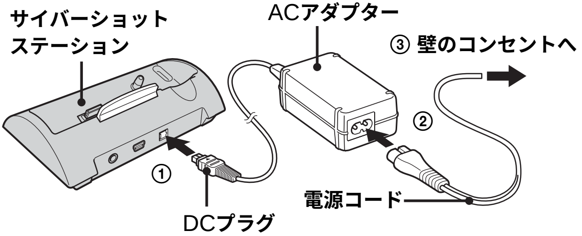
8 A/V OUT(MONO)**端子**

お使いになる前に

本取扱説明書とあわせて、お使いのデジタルスチルカメラの取扱説明書もご確認ください。

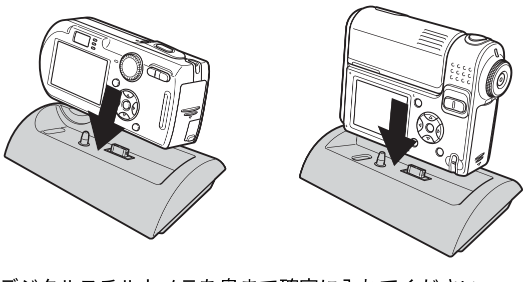
デジタルスチルカメラを取り付ける／取りはずす

1 本機のDC IN端子にACアダプターのケーブルをつなぐ



2 取り付ける

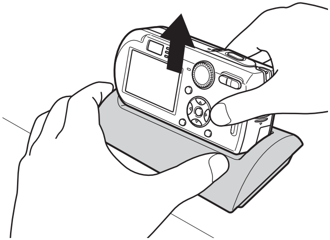
図の向きにデジタルスチルカメラを取り付けてください。

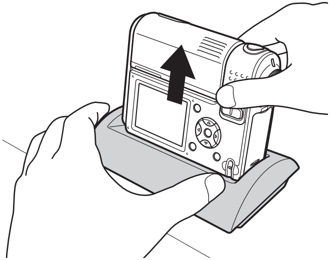


- デジタルスチルカメラを奥まで確実に入れてください。

3 取りはずす

図のようにデジタルスチルカメラと本機を持って取りはずしてください。





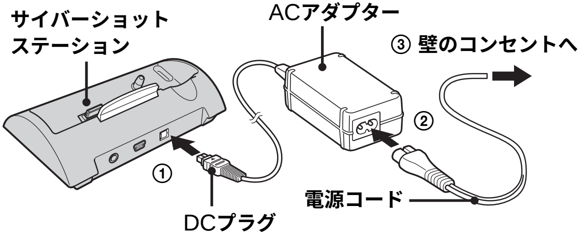
- デジタルスチルカメラを本機に取り付ける／取りはずすときは、必ずデジタルスチルカメラの電源を切ってください。
- USB接続中は、デジタルスチルカメラを本機から取りはずさないでください。画像データが壊れることがあります。

バッテリーを充電する

1 **デジタルスチルカメラのバッテリー／" メモリースティック "カバーを開ける**

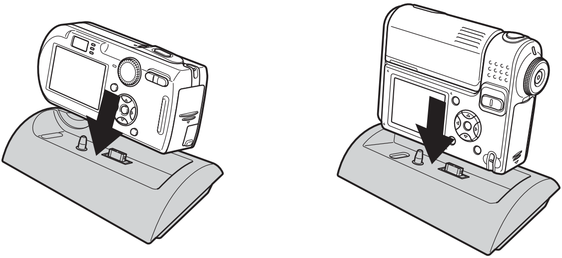
2 **デジタルスチルカメラにバッテリーを入れて、バッテリー／" メモリースティック "カバーを閉める**

3 **ACアダプターのケーブルを本機のDC IN端子につなぎ、電源コードをACアダプターとコンセントにつなぐ**

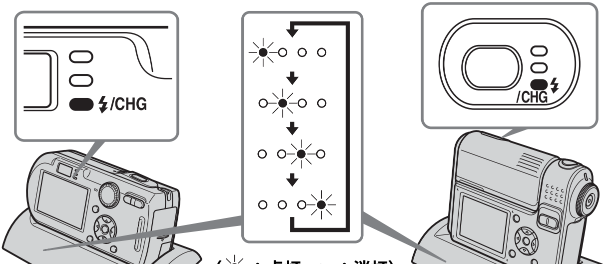


- ACアダプターのDCプラグを金属類でショートさせないでください。故障の原因になります。

4 本機にデジタルスチルカメラを取り付ける



図の向きにデジタルスチルカメラを取り付けてください。
充電が始まり、デジタルスチルカメラの⚡/CHGランプおよびサイバーショットステーションのCHARGEランプが点灯します。



（☀：点灯　○：消灯）

充電中、サイバーショットステーションのCHARGEランプが1つずつ順番に点灯します。充電が終わるとデジタルスチルカメラの⚡/CHGランプおよびサイバーショットステーションのCHARGEランプが消えます。

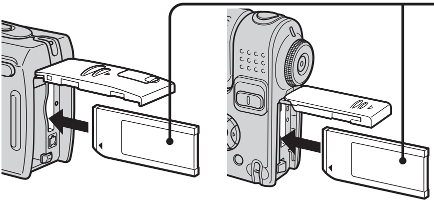
注意：CHARGEランプは充電容量を表すものではありません。

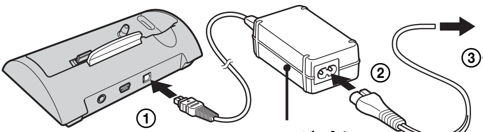
- バッテリーを充電するときは、必ずデジタルスチルカメラの電源を切ってください。
- デジタルスチルカメラを奥まで確実に入れてください。

デジタルスチルカメラをパソコンに接続する

1 パソコンの電源を入れる

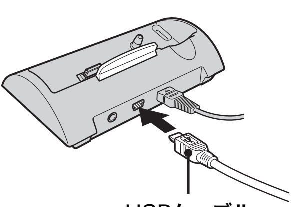
2 デジタルスチルカメラに画像を記録した" メモリースティック "を入れる
本機とACアダプターをつなぎ、壁のコンセントにつなぐ



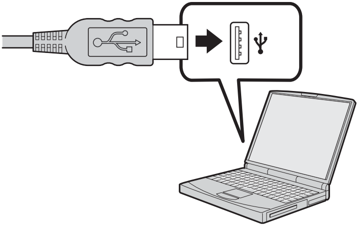


- " メモリースティック "については、デジタルスチルカメラの取扱説明書をご覧ください。

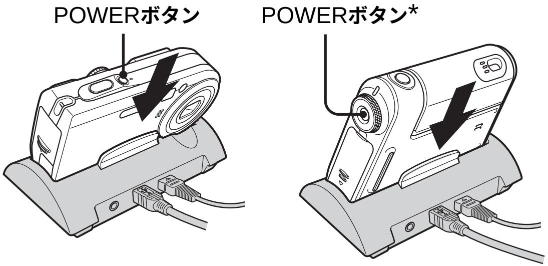
3 付属のUSBケーブルを本機のUSB端子につなぐ



4 USBケーブルをパソコンのUSB端子につなぐ



5 本機にデジタルスチルカメラを取り付けてから、デジタルスチルカメラの電源を入れる

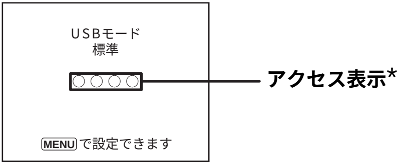


* DSC-F88はPOWERボタン以外にレンズ部を回転させて電源を入れる方法があります。
詳しくはデジタルスチルカメラの取扱説明書をご覧ください。

- デジタルスチルカメラを奥まで確実に入れてください。

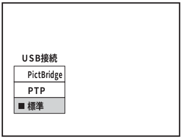
6 デジタルスチルカメラの液晶画面に「USBモード 標準」と表示される

初回接続時のみ、パソコンがデジタルスチルカメラを認識するための作業を自動的に行います。作業が終わるまでお待ちください。



- 「USBモード 標準」と表示されないときは、MENUボタンを押して［USB接続］を選び、［標準］に設定してください。

  *通信中はアクセス表示が赤色になります。
  白色になるまで、パソコンの操作をしないでください。

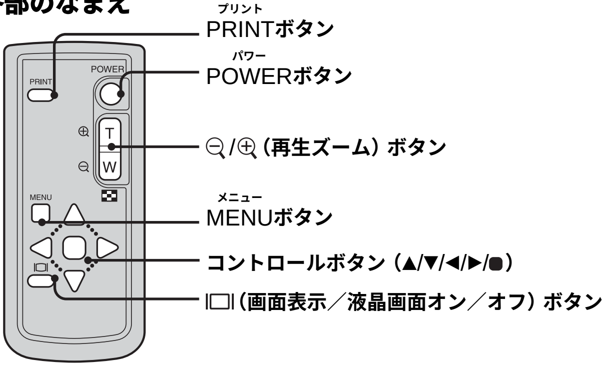


- USB接続中は、デジタルスチルカメラを本機から取りはずさないでください。また、USBケーブルやACアダプターを抜いたりしないでください。画像データが壊れることがあります。
- 詳しくはデジタルスチルカメラの取扱説明書をご覧ください。

ワイヤレスリモコンを使う

出荷時にはすでにボタン型リチウム電池が装着されています。電池の消耗を防ぐために絶縁シートが入れてあります。あらかじめ、絶縁シートを抜いてからご使用ください。

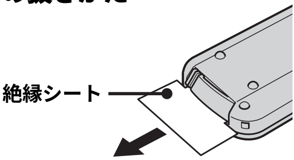
● 各部のなまえ



リモコンについてのご注意

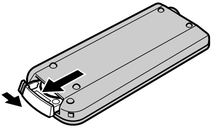
- リモコンにはボタン型リチウム電池（CR2025）が内蔵されています。CR2025以外の電池を使用しないでください。
- 本機のリモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光が当たらないようにしてください。リモコン操作ができないことがあります。
- リモコンの届く範囲は屋内使用時で約5mです。本機のリモコン受光部に向けて操作してください。角度によっては操作ができないことがあります。

● 絶縁シートの抜きかた

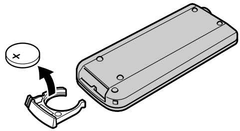


● 電池を交換するには

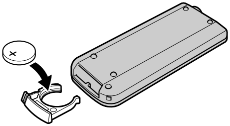
1 電池ケースのタブを内側に押しながら、みぞに爪をかけて引き出す



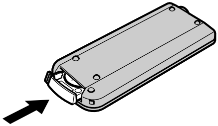
2 ボタン型リチウム電池を取り出す



3 +側を上にして新しいボタン型リチウム電池を入れる

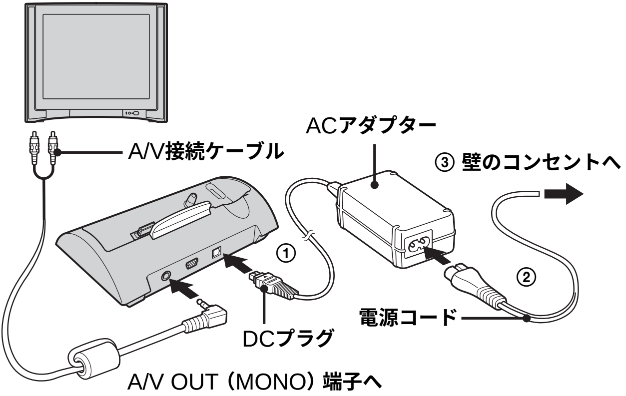


4 電池ケースを本体に戻す。「カチッ」と音がするまで差し込む



テレビで見る

1 本機とACアダプターをつなぎ、壁のコンセントにつなぐ 付属のA/V接続ケーブルで本機のA/V OUT（MONO）端子と、テレビの映像／音声入力端子を接続する

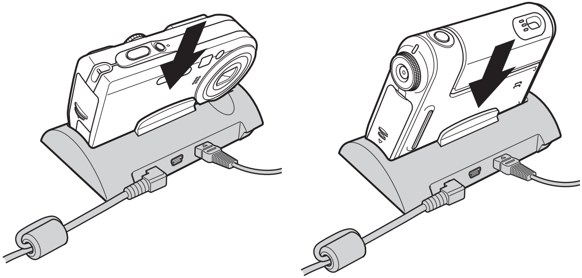


テレビの音声入力端子がステレオタイプのときはA/V接続ケーブルの音声プラグ（黒）を左音声端子に接続してください。

- デジタルスチルカメラとテレビの電源を切ってからA/V接続ケーブルをつないでください。

2 本機にデジタルスチルカメラを取り付ける

図の向きに取り付けてください。



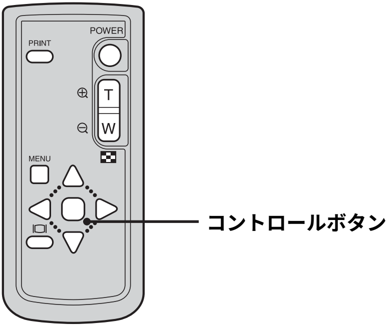
- デジタルスチルカメラを奥まで確実に入れてください。

3 テレビの電源を入れ、テレビ／ビデオ切り換えスイッチを「ビデオ」にする

4 デジタルスチルカメラのモードダイヤルを「▶」にして、電源を入れる

コントロールボタンの◀／▶で画像を選びます。

リモコンでも操作できます。



- 海外でお使いのときは［ビデオ信号出力］の切り換えが必要な場合もあります。詳しくはデジタルスチルカメラの取扱説明書をご覧ください。

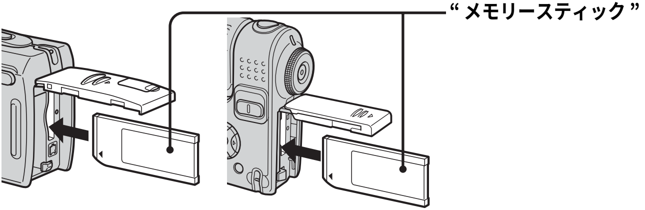
PictBridge対応のプリンターと接続する

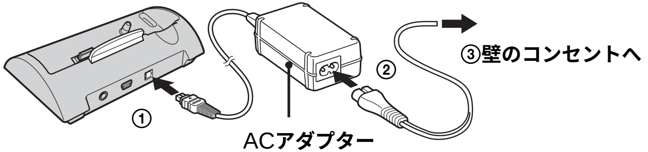
パソコンを持っていない場合でもPictBridge対応のプリンターを使えば、デジタルスチルカメラで撮影した画像を簡単にプリントすることができます。

PictBridge

- プリンターによっては対応していない印刷設定機能があります。
- プリントの途中で電源が切れないようにするため、ACアダプターのご使用をおすすめします。

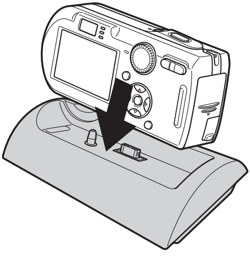
1 デジタルスチルカメラに画像を記録した ”メモリースティック ”を入れる 本機とACアダプターをつなぎ、壁のコンセントにつなぐ

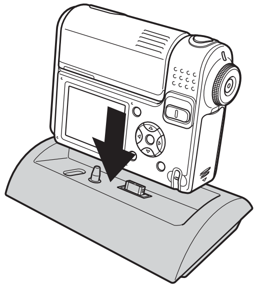




2 本機にデジタルスチルカメラを取り付ける

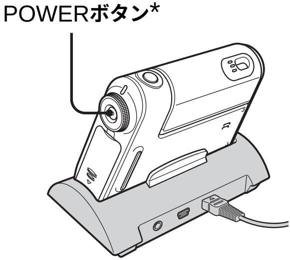
図の向きにデジタルスチルカメラを取り付けてください。





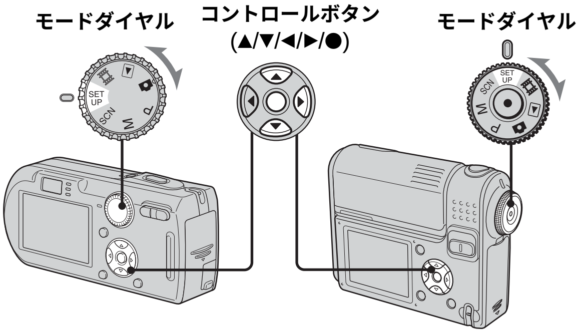
3 デジタルスチルカメラの電源を入れる





* DSC-F88はPOWERボタン以外にレンズ部を回転させて電源を入れる方法があります。詳しくはデジタルスチルカメラの取扱説明書をご覧ください。

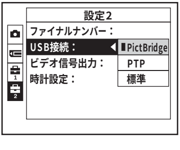
4 デジタルスチルカメラのUSBモードをPictBridgeにする



① モードダイヤルを「SET UP」にする

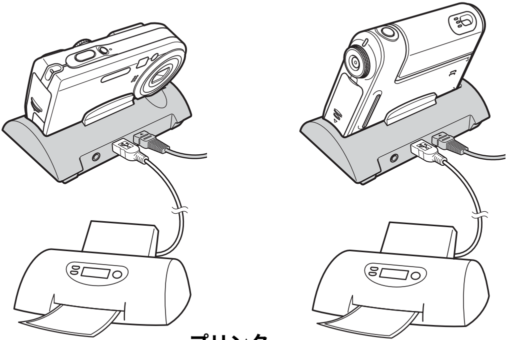
② ▼で [ ]（設定2）を選び、▲/▼/▶で［USB接続］を選ぶ

③ ▶/▲で［PictBridge］を選び、中央の●を押す

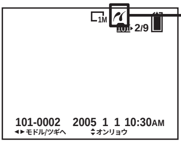


USB接続が設定されました。

5 付属のUSBケーブルを本機のUSB端子につなぐ
6 USBケーブルをプリンターのUSB端子につなぐ



プリンター



接続が完了すると、画面にマークが表示されます。

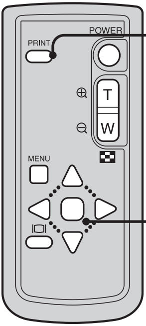
「SET UP」の［USB接続］を［PictBridge］に設定していないときは、デジタルスチルカメラの電源を入れてもPictBridgeの機能はご使用になれません。[PictBridge]に設定し直してください。

[PictBridge]に設定しているときは、デジタルスチルカメラの電源が入っていると、モードダイヤルの位置に関係なく、再生モードになり、選択されている再生フォルダの画像が液晶画面に表示されます。

ワイヤレスリモコンでプリントする

- 動画はプリントできません。
- プリンターと接続中、プリンターからエラー発生の通知がくると、画面に が約5秒間点滅します。その場合は、接続しているプリンターを確認してください。

● 静止画をワイヤレスリモコンでプリントする（シングル画面のとき）



1 ◀/▶でプリントしたい画像を表示する

2 PRINTボタンを押す

プリント設定画面が表示されます。



- プリンターが対応していない設定項目は表示されません。

3 ▲/▼で［枚数］を選択し、◀/▶でプリントする枚数を選ぶ

プリントする枚数は20枚まで選ぶことができます。

4 ▼/▶で［実行］を選び、中央の●を押す

画像が印刷されます。



- 印刷が終了すると、元の画像に戻ります。
- （USBケーブル抜き禁止）マークが画面に表示されているときは、USBケーブルを抜かないでください。

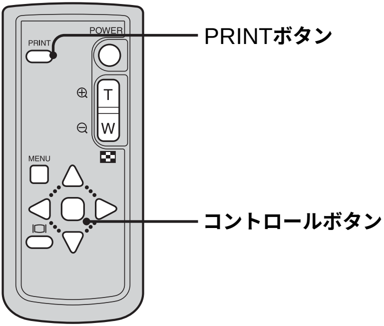
プリントを中止するには

手順2または手順4で［終了］を選んでください。

画像に日付を挿入するには

- 手順3で［日付］を選び、◀/▶で日付の種類を選んでください。
  ［日時分]、［年月日］から選ぶことができます。プリントする画像にデジタルスチルカメラで撮影した時の日付が挿入されます。
- お使いになるプリンターによっては対応していない場合があります。
- 詳しくはデジタルスチルカメラの取扱説明書をご覧ください。

● 静止画をワイヤレスリモコンでプリントする（インデックス画面のとき）



1 **プリントしたい画像を▲/▼/◀/▶で選ぶ**

2 **PRINTボタンを押す**

プリント設定画面が表示されます。



- プリンターが対応していない設定項目は表示されません。

3 **▲/▼で［枚数］を選択し、◀/▶でプリントする枚数を選ぶ**

プリントする枚数は20枚まで選ぶことができます。

4 ▼/▶で［実行］を選び、中央の●を押す

画像が印刷されます。



- マークが画面に表示されているときは、USBケーブルを抜かないでください。

プリントを中止するには

手順2または手順4で［終了］を選んでください。

画像に日付を挿入するには

- 手順3で［日付］を選び、◀/▶で日付の種類を選んでください。
  ［日時分］、［年月日］から選ぶことができます。プリントする画像にデジタルスチルカメラで撮影した時の日付が挿入されます。
- お使いになるプリンターによっては対応していない場合があります。
- 詳しくはデジタルスチルカメラの取扱説明書をご覧ください。

故障かな？と思ったら

修理にお出しになる前に、もう1度点検してみましょう。
それでも正常に作動しないときは、テクニカルインフォメーションセンターにお問い合わせください。

症状	原因／処置
バッテリーが充電できない。	• デジタルスチルカメラの電源が入っている。 → デジタルスチルカメラの電源を切る。 • 接続が正しくない。 → 正しく接続する。
バッテリー充電中、デジタルスチルカメラの⚡/CHGランプが点灯していない。	• ACアダプターがはずれている。 → 正しく接続する。 • デジタルスチルカメラが本機に正しく取り付けられていない。 → 正しく取り付ける。 • バッテリーが正しく取り付けられていない。 → バッテリーを正しく取り付ける。 • 充電が完了している。
バッテリー充電中、サイバーショットステーションのチャージランプが点灯していない。	• ACアダプターがはずれている。 → 正しく接続する。 • デジタルスチルカメラが本機に正しく取り付けられていない。 → 正しく取り付ける。 • バッテリーが正しく取り付けられていない。 → バッテリーを正しく取り付ける。 • 充電が完了している。
電源が入らない。	• デジタルスチルカメラが本機に正しく取り付けられていない。 → 正しく取り付ける。 • ACアダプターがはずれている。 → 正しく接続する。
電源が途中で切れる。	• デジタルスチルカメラが本機に正しく取り付けられていない。 → 正しく取り付ける。

症状	原因／処置
テレビに画像/音声が出ない。	• 接続が正しくない。 → 接続を確認する。
デジタルスチルカメラがパソコンに認識されない。	• デジタルスチルカメラの電源が入っていない。 → デジタルスチルカメラの電源を正しく入れる。 • 付属のUSBケーブルを使っていない。 → 付属のUSBケーブルを使う。 • USBケーブルがしっかり差し込まれていない。 → 一度パソコンと本機からケーブルを抜いて、しっかりと差し込み、「USBモード」になっていることを確認する。 • デジタルスチルカメラが本機に正しく取り付けられていない。 → 正しく取り付ける。 • パソコンのUSB端子に本機の他に機器が接続されている。 → キーボード／マウス以外は取りはずす。
操作を受け付けない。	• デジタルスチルカメラが本機に正しく取り付けられていない。 → 正しく取り付ける。
リモコンで動作できない。	• ACアダプターがはずれている。 → 正しく接続する。 • リモコンの電池が切れている。 → 新しい電池に交換する。
プリンターと接続できない。	• プリンターがPictBridgeに対応していない。 → PictBridgeに対応しているかどうか、プリンターのメーカーに問い合わせる。 • プリンターが接続できない状態になっている。 → プリンターの電源が入り、接続可能な状態になっていることを確認する。 •「SET UP」の［USB接続］が［PictBridge］になっていない。 →［PictBridge］にする。

症状	原因／処置
プリントできない。	• プリンターと接続されていない。 → 本機とプリンターがUSBケーブルで正しく接続されているかどうかを確認する。 • プリンターの電源が入っていない。 → プリンターの電源を入れる。 詳しくはプリンターの取扱説明書をご覧ください。 • 動画はプリントできません。 • デジタルスチルカメラ以外で撮影した静止画、またはパソコンで加工した画像はプリントできないことがあります。
プリントが中断される。	• マークが消える前にUSBケーブルを抜いた。 • マークが消える前にデジタルスチルカメラを本機からはずした。
日付挿入／インデックスプリントができない。	• プリンターが日付挿入／インデックスプリントに対応していない。 → 日付挿入／インデックスプリントに対応しているかどうか、プリンターのメーカーに問い合わせる。 • プリンターによっては、インデックスプリントでは日付が挿入されない場合がある。 → プリンターのメーカーに問い合わせる。
日付部分に「---- -- --」などが印刷される。	• 画像ファイルに印刷可能な撮影日時情報が入っていない。 → 印刷可能な撮影日時情報が入っていない画像ファイルでは、日付の印刷を行うことができない。［日付］を［切］に設定して印刷する。
本機にデジタルスチルカメラを取り付けていないのにCHARGEランプが点灯する。	• 本機にデジタルスチルカメラを取り付けた状態でリモコンを▲/◀/▼/▶/●の順番で操作したため、デモモードになっている。 → ACアダプターを接続し直すか、デジタルスチルカメラを本機に取り付けることでデモモードを解除する。

主な仕様

サイバーショットステーション

- **本機**（1**個**）

入出力端子

A/V OUT（MONO）端子（モノラル）
ミニジャック
映像*： 1Vp-p、75Ω不平衡、同期負
音声*： 327mV（47kΩ負荷時）
出力インピーダンス2.2kΩ
*DSC-P150/P100/F88接続時

USB端子　mini-B
DC IN端子
マルチ接続端子

一般

外形寸法	約114×36×66mm（幅×高さ×奥行き）
質量	約77g
動作温度	0℃～+40℃
保存温度	-20℃～+60℃

- **ワイヤレスリモコン**（RMT-CSS1）
  （ボタン型リチウム電池内蔵）（1**個**）
- A/V**接続ケーブル**（1**本**）
- USB**ケーブル**（1**本**）
- **取扱説明書**（1**部**）
- **保証書**（1**部**）

* ACアダプターは付属しておりません。 デジタルスチルカメラに付属のACアダプター（AC-LS5/LS5B）、または別売りのAC-LS5をお使いください。

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

保証書とアフターサービス

記録内容の補償はできません

万一、サイバーショットステーションなどの不具合により記録や再生がなされなかった場合、画像や音声などの記録内容の補償については、ご容赦ください。

保証書は国内に限られています

付属している保証書は、国内仕様です。外国で万一、故障、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際にお買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。当社ではサイバーショットステーションの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

- 型名：CSS-PHAまたはCSS-FEB
- 故障の状態：できるだけ詳しく
- お買い上げ日

お問い合わせ窓口のご案内

■**テクニカルインフォメーションセンター**

ご使用上での不明な点や技術的なご質問のご相談および修理受付の窓口です。

製品の品質には万全を期しておりますが、万一不具合が生じた場合は、「テクニカルインフォメーションセンター」までご連絡ください。
修理に関するご案内をさせていただきます。また修理が必要な場合は、お客様のお宅まで指定宅配便にて集荷にうかがいますので、まずお電話ください。

電話のおかけ間違いにご注意ください。

電話：　0564-62-4979
受付時間：　月～金曜日　午前9時～午後5時
（ただし、年末、年始、祝日を除く）
お電話される際に、本機の型名（CSS-PHAまたはCSS-FEB）をお知らせください。
より迅速な対応が可能になります。

ソニー株式会社　〒141-0001　東京都品川区北品川6-7-35

eco info

この説明書は100%**古紙再生紙と**VOC (**揮発性有機化合物**)**ゼロ植物油型インキを使用しています。**

http://www.sony.co.jp/

Printed in Japan